

# 高知県浦尻川で採集されたミナミベニツケガニ

京谷蒼馬<sup>1</sup>・山川宇宙<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科海洋資源環境学専攻

<sup>2</sup> 筑波大学大学院生命環境科学研究科生物科学専攻



写真1 *Thranita crenata* ミナミベニツケガニ  
(TKPM-AR 3568)

## 種の記録

Portunidae ワタリガニ科

*Thranita crenata* (Rüppell, 1830)

ミナミベニツケガニ(写真1)

標本 徳島県立博物館節足動物標本(TKPM-AR) 3568, 1♀, 甲長 24.2mm, 甲幅 35.2mm, 浦尻川(高知県土佐清水市浦尻), 2026年1月7日, 山川宇宙・京谷蒼馬採集。

## 種の特徴

甲表面はなめらかで、額はほぼ同大の6歯に分かれる。甲前側縁には、眼窩外歯を除きほぼ同大の4歯を有する。体は暗緑色で、鉗脚の先端は赤色。歩脚の指節および関節部は橙色を呈する。以上の特徴は、豊田ほか(2019)に示されるミナミベニツケガニの特徴に一致したことから、本種に同定された。

## 備考

本種は、本邦では神奈川県以南から報告されており(乾ほか, 2020, 2021), 四国地方では高知県の香南市と高知市(浦尻湾)のみから記録されている(細木・町田, 2004; 町田, 2010)。本研究により新たに土佐清水市(浦尻川)からも記録された。検討標本は、厚生橋の上流左岸に位置する砂泥底から採集された。調査時、ほかに本種2個体が確認された。

細木・町田(2004)は、浦尻湾で8–10月に本種のメス4個体が抱卵していたことを報告している。そのため、高知県において本種は再生産している可能性が高い。なお、同県における本種の越冬可能性に関する知見は皆無であったが、本研究により厳寒期に近い1月にミナミベニツケガニが採集されたことから、高知県において今後、同種が越冬する可能性があり、継続した調査が必要である。

## 謝辞

標本の登録を行っていただいた徳島県立博物館の鈴木佑弥学芸員、写真撮影にご協力いただいた愛媛県農林水産研究所水産研究センターの清水孝昭氏に深謝する。

## 引用文献

- 細木光夫・町田吉彦. 2004. 高知県浦尻湾で得られたワタリガニ科のカニ類(十脚目:短尾下目). 四国自然科学研究, (1):9–17.
- 乾 直人・山川宇宙・碧木健人. 2020. 神奈川県川田越川および静岡県青野川から採集された注目すべきカニ類4種. 神奈川自然誌資料, (41):27–31.
- 乾 直人・山川宇宙・碧木健人・是枝伶旺. 2021. 2019年9月以降に相模湾およびその周辺地域から採集された注目すべきカニ類7種. 神奈川自然誌資料, (42):135–141.
- 町田吉彦. 2010. 高知県の大型十脚甲殻類. 環境プロジェクト委員会(編), 「高知県の自然環境」全国生涯学習フォーラム高知大会まなびピア 2010, 全国生涯学習フォーラム高知大会実行委員会, 高知. 24–25.
- 豊田幸詞・関慎太郎・駒井智幸. 2019. 日本産淡水性・汽水性エビ・カニ図鑑. 緑書房, 東京. 339pp.

(2026年1月13日受付, 2026年1月17日公開)

連絡先:京谷蒼馬(e-mail: kyo.soma.research@gmail.com)  
(Soma Kyotani and Uchu Yamakawa. 2026. *Thranita crenata* (Portunidae) collected from the Urajiri River, Kochi Prefecture. NS Fieldnote, 26004)